

学習目標 15-18 歳以上

1 関係性

- 1.1 家族
- 1.2 友情、愛情、恋愛関係
- 1.3 寛容、包摂、尊重
- 1.4 長期的な責任ある関係と子育て

1.1 家族

キーアイデア：

- ・ 性的関係や健康問題は家族関係に影響を与えることがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 家族がデリケートな情報（例：HIV 陽性であること、妊娠したこと、結婚したこと、お見合いを拒否したこと、性的虐待を受けたことがあること、幸せな性的関係にあること）を開示したとき、家族の役割や関係がどのように変化するかを評価する。（知識）
- ▶ 性的関係や健康に関する情報を開示したり共有したりすると、自分の役割や関係がどのように変化するかを考える。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 性的関係や健康問題に関する情報の共有や開示に関連した課題に直面したときに、若者や家族が頼ることのできる支援システムがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的関係や健康に関する情報を開示したり、共有したりする若者に対して、兄弟、親、保護者、親族がどのように支援できるかを説明する。（知識）
- ▶ 家族がお互いを尊重しながら支え合うことで、困難を乗り越えることができることを認識する。（態度）
- ▶ 自分自身や支援を必要としている家族を支援するために、有効で信頼できるコミュニティの資源を利用する。（スキル）

1.2 友情、愛情、恋愛関係

キーアイデア：

- ・ 性的関係には、健康的なものと不健康なものがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康的な性的関係と不健康な性的関係の特徴を比較する。（知識）
- ▶ 性的関係は健康的にも不健康にもなりうることを認識する。（態度）
- ▶ 不健康な性的関係を避けるための方法を示す。（スキル）
- ▶ 不健康な関係に陥った場合に、信頼できる大人を見極め、助けを求める場所へのアクセス方法を示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 成長に応じて、親愛や愛情を表現する方法はさまざまです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康的な性的関係の中で親愛を表現するためのさまざまな方法を説明する。(知識)
- ▶ 性的行動が愛情を表現するための要件ではないことを認識する。(態度)
- ▶ 適切な方法で親愛や愛情を表現することができる。(スキル)

1.3 寛容、包摂、尊重

キーアイデア：

- ・ スティグマ（恥と罪の意識）や差別に挑み、包摂、非差別、多様性を促進することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ スティグマや差別が、個人やコミュニティ、社会にどのような影響を与えているのかを分析する。(知識)
- ▶ スティグマや差別に反対する既存の法律をまとめる。(知識)
- ▶ 「区別」と思われている差別に挑むことの重要性を認識する。(態度)
- ▶ 排除されている人々への支援を表現する。(スキル)
- ▶ スティグマや差別に反対し、包摂、非差別、多様性の尊重のために声を上げる。(スキル)

1.4 長期的な責任ある関係と子育て

キーアイデア：

- ・ 結婚や長期の責任ある関係性は、やりがいのあるものでも困難なものでもあり得ます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 結婚と長期の関係性のもたらすやりがいと困難を評価する。(スキル)
- ▶ 親には継続的な教育への権利があることを認識する。(態度)

キーアイデア：

- ・ 子どもを持つかどうか、なぜ、いつ持つかの決定には、多くの要因が影響している。

学習者ができるようになること：

- ▶ 子どもを持つ、持たないを決めるさまざまな理由を説明する。(知識)
- ▶ ジェンダー、HIV の状態、性的指向、ジェンダーアイデンティティに関係なく、誰もが親になれることを認識する。(態度)
- ▶ 親になりたい人もいれば、なりたくない人もいること、誰もが親になれるわけではないこと、親になりたいまま親になってしまった人もいることを認識する。(態度)
- ▶ 子どもを持つかどうか、その理由や時期について、自分の意見に強い影響を与える要因を批判的に評価する。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 親／保護者が責任を持って満たすべきさまざまなニーズを、子どもは持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 子どもの身体的、情緒的、経済的、健康的、教育的な面での重要なニーズと、それに関連した親の責任を分類する。(知識)
- ▶ 人間関係の難しさが子どもの幸福に影響を与えることを説明する。(知識)
- ▶ 子育てにおける健康的な人間関係の重要性を認識する。(態度)
- ▶ 自分たちの身体的、感情的、経済的、教育的なニーズを親／保護者に伝える。(スキル)

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

- 2.1 価値観とセクシュアリティ
- 2.2 人権とセクシュアリティ
- 2.3 文化、社会とセクシュアリティ

2.1 価値観とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・自分の価値観、信念、態度を知ることが、それらに一致した性的行動をとるために重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティと生殖の健康に関する自分の価値観と一致する行動としない行動を比較対照する。(知識)
- ▶自分の価値観がどのように性的行動の指針となっているかを認める。(態度)
- ▶自分の価値観に導かれた性的行動を選ぶ。(スキル)

キーアイデア：

- ・子どもは成長するにつれて、自分の価値観を持つようになります。それは親や保護者とは異なる価値観かもしれません。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティに関する自分の価値観と、親や保護者の価値観を区別する。(知識)
- ▶自分の価値観が親や保護者と異なる場合があることを認識する。(態度)
- ▶価値観の違いによる家族との衝突を解決する方法を実際にやってみる。(スキル)

2.2 人権とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を取り扱う地域法や国内法、国際協定があります。

学習者ができるようになること：

- ▶CEFM(児童婚・早期婚・強制婚)、女性性器切除/切断、インターセックスの子どもたちへの同意のない手術、強制不妊手術、性交同意可能年齢、ジェンダー平等、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、妊娠中絶、レイプ、性的虐待、性的人身取引などに関する地域や国の法律や政策、性と生殖の健康に関わるサービスや生殖の権利へのアクセスを分析する。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権侵害を具体的に例示する。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権を認める。(態度)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権をサポートする地域や国の法律を求めて社会に呼びかける。(スキル)

キーアイデア：

- ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を知り、推進することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶友だちとの間、家族、学校、コミュニティにおいて人権を促進する方法を調べる。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権や、差別や強制、暴力のない状態で生殖に関する意思決定を行う権利を促進することがなぜ重要なのかを認識する。(態度)

▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権を推進するための行動をとる。(スキル)

2.3 文化、社会とセクシュアリティ

キーアイデア：

・自分自身の視点を養いながら、社会的・文化的規範がどのように性的行動に影響を与えるかを認識することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶性的行動や性の健康にポジティブまたはネガティブな影響を与える社会的・文化的規範を比較対照する。(知識)
- ▶性的行動に対する自分の視点を養うことの重要性を認める。(態度)
- ▶自分が大切にしている社会的・文化的規範と、それらがセクシュアリティや性的行動に関する個人的な信念や感情にどのように影響を与えているかを考える。(スキル)

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性

キーアイデア：

- ・ 自分や他者のジェンダーバイアス（ジェンダーの偏見）に挑むことは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 男性、女性、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々に対するジェンダーバイアスの例を再認識する。(知識)
- ▶ 自分や他者のジェンダーバイアスが他者にとって有害でありうることを認識する。(態度)
- ▶ 自分自身のジェンダーバイアスのレベルを批判的に評価し、コミュニティ内のジェンダーバイアスを分析する。(スキル)
- ▶ 自分や他者のジェンダーバイアスに対抗するための方策を実際にやってみる。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 同性愛嫌悪（ホモフォビア）やトランス嫌悪（トランスフォビア）は、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々にとって有害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 同性愛嫌悪とトランス嫌悪を定義する。(知識)
- ▶ 同性愛嫌悪やトランス嫌悪とそれによって起こる悪影響を助長している社会規範を分析する。(知識)
- ▶ すべての人は、暴力、強制、差別のない状態で、愛したい人を愛することができるべきであると認識する。(態度)
- ▶ 同性愛嫌悪やトランス嫌悪に直面している人へのさまざまなサポートを示す方法をやってみる。(スキル)

3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス

キーアイデア：

- ・ ジェンダー不平等、社会規範、力の差が、性的行動に影響を与え、性的強制、虐待、ジェンダーに基づく暴力のリスクを高める可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー不平等や力の差が、性的行動や性的強制、虐待、ジェンダーに基づく暴力のリスクにどのように影響を与えるかを明らかにする。(知識)
- ▶ ジェンダー不平等や力の差が、性的行動、コンドームの使用、性と生殖に関する健康サービスへのアクセスなど、安全な選択をし、行動する能力に影響を与えうることを認識する。(態度)
- ▶ 性的強制や虐待、ジェンダーに基づく暴力に直面した場合、サポートにアクセスしたり、他者がサポートにアクセスするのを助けたりする。(スキル)

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア：

- ・ 親密なパートナーからの暴力は有害であり、それを経験した人へのサポートが存在します。

学習者ができるようになること：

- ▶ 親密なパートナーからの暴力には、さまざまな形（例：精神的、身体的、性的）があることを認識する。（知識）
- ▶ 親密なパートナーからの暴力は不当な行為であり、虐待を受けた関係から離れることが可能であることを認識する。（態度）
- ▶ この種の暴力に直面している場合、信頼できる大人にどのようにサポートを求めアプローチするかを示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ ジェンダー平等の実現を呼びかけ、性的虐待や有害な慣習、ジェンダーに基づくその他の暴力といった人権侵害に対して声を上げる責任が、すべての人にあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー平等を促進し、ジェンダーに基づく暴力を減らすことに成功した活動の具体例を分析する。（知識）
- ▶ オンラインを含む公的またはプライベートの場で、人権侵害やジェンダー不平等に対して異を唱えることの重要性を認める。（態度）
- ▶ ジェンダー平等とジェンダーに基づく暴力の撲滅を提唱する。（スキル）

4 暴力と安全確保

- 4.1 暴力
- 4.2 同意、プライバシー、からだの保全
- 4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

4.1 暴力

キーアイデア：

- ・ すべての人には、暴力にさらされることなく人々の健康と幸福が実現するように働きかける責任があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 身体的、心理的、性的なものも含むさまざまな形の暴力を減らすための取り組みの成功例を分析する。(知識)
- ▶ 学校、家庭、オンライン、コミュニティなどあらゆる場で起こる暴力や人権侵害に対して、声を上げることの重要性を認める。(態度)
- ▶ 誰もが尊厳を持って、大切に扱われるような安全な環境の実現を社会に呼びかける。(スキル)

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア：

- ・ 健康的でよろこびのある、パートナーとの合意の上での性的行動には、同意が不可欠です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的同意を伝えること、拒否することの利点、他人の性的同意や同意の有無を認めることの利点を分析する。(知識)
- ▶ 男性と女性のからだの扱われ方の違いや、同意に基づく性的行動に影響しうる性的行動のダブルスタンダードを比較対照する。(知識)
- ▶ 同意に基づいた性的行動は、健康的な性的関係の重要な要素であることを認識する。(態度)
- ▶ 同意を伝える、または拒否するコミュニケーションや、同意の有無を認識する方法を実際にやってみる。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 同意を伝える能力や同意を認識する能力に強い影響を与えうる要因を認識することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的同意において、相手の話を聞くこと、認めること、行動すること、または行動しないことの意味を議論する。(知識)
- ▶ 同意が認識されている場合と認識されていない場合、あるいは同意が伝えられている場合を比較対照する。(知識)
- ▶ 同意を認識したり、伝えたりする能力に影響を与えうる要因（例：アルコールや薬物、ジェンダーに基づく暴力、貧困、力関係）を分析する。(知識)
- ▶ 性的同意を損ないうる要因を避けることが重要であることを認識する。(態度)
- ▶ 同意を伝えたり、拒否したりする能力をはっきりと示す。(スキル)
- ▶ 他人の同意の有無を認識する能力をはっきりと示す。(スキル)

4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

キーアイデア：

・ソーシャルメディアの利用は、有益なことも多い反面、慎重な取り扱いが求められるような道徳的、倫理的、法的な状況になる可能性もあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ソーシャルメディアを安全に、合法的に、そして慎重に利用するための方策を分析する。(知識)
- ▶ ソーシャルメディアの利用には多くの利点があるが、安全でない状況や違法行為にもつながる可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ ソーシャルメディアを、責任を持って利用するための計画を立て、実践する。(スキル)

キーアイデア：

・性的に露骨なメディアは、性的行動、性的反応、体型などについて非現実的な期待を抱かせてしまうことがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的に露骨なメディアが、どのようにして男性、女性、性的行動、性的反応、体型などについて非現実的な期待を生み出すのかを評価する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアが有害なジェンダースtereotypeを強化し、暴力的または性的同意のない行為を普通のことにしてしまう可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ 性的に露骨なメディアによる男性、女性、性的行動の非現実的な描写の結果が、自己イメージ、自信、自尊心、他者への認識にどのような影響を与える可能性があるかを考察する。(スキル)

5 健康と幸福のためのスキル

- 5.1 性的行動における規範と仲間の影響
- 5.2 意思決定
- 5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル
- 5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ
- 5.5 援助と支援を見つける

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーアイデア：

- ・ 性的行動についての合理的な意思決定は可能です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 若者の性的行動に関する意思決定について、ジェンダー規範や社会規範、ネガティブなピアプレッシャーに影響を受けたシナリオと、影響を受けないシナリオを比較対照する。(知識)
- ▶ 性的行動について合理的な判断をしやすくする要因や難しくする要因を評価する。(知識)
- ▶ 性的行動について合理的な判断ができるようになることを強く志向する。(態度)
- ▶ 性的な意思決定をする際に、ネガティブなジェンダー規範や社会規範、仲間からの影響に対抗する方法を示す。(スキル)

5.2 意思決定

キーアイデア：

- ・ 性にかかわる意思決定は、社会的、健康的な影響を含めて、自分自身と他者に結果をもたらします。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的行動に関連した意思決定が、個人、家族、社会に及ぼしうる潜在的な社会的・健康的影響を分析する。(知識)
- ▶ 性にかかわる意思決定が自分や家族、社会に影響を与えることを認識する。(態度)
- ▶ 性にかかわる意思決定によって影響を受ける他者への共感を表現する。(スキル)
- ▶ 性的行動について責任ある意思決定をする。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 性にかかわる意思決定は、法的責任をとらなう可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 若者の性的行動に関連して、できること、できないこと（例：性的同意年齢、避妊具や性感染症およびHIVの状況、同性間の性的行動を含む健康に関するサービスへのアクセス）に影響を与える国内法を明らかにする。(知識)
- ▶ 性的行動に関する意思決定を評価する上で、自分の権利を知ることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ 性的行動に関連した特定の意思決定をした場合に生じうる法的責任を評価する。(スキル)

5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル

キーアイデア：

- ・ 個人のニーズや性的な許容範囲を表現するには、効果的なコミュニケーションが鍵となります。

学習者ができるようになること：

- ▶個人のニーズや性的な許容範囲を表現するための効果的なコミュニケーションの例を分析する。(知識)
- ▶性的同意を示す例と示さない例、性的同意を聞く例を説明する。(知識)
- ▶同意のある、より安全なセックスには、なぜ効果的なコミュニケーションが必要なのかを説明する。(知識)
- ▶自分を主張することや交渉するスキルは、望まない性的プレッシャーに対抗したり、より安全なセックスを実践しようとする意思を強めたりするのに役立つことを認識する。(態度)
- ▶個人のニーズや性的な許容範囲を伝える効果的なコミュニケーションを示す。(スキル)

5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ

キーアイデア：

・メディアによるネガティブで不正確な男性と女性の描写に対しては、行動にポジティブな影響を与え、ジェンダー平等を促進するために、異議を唱えることができます。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティや性的関係についてのメディアのメッセージのポジティブな影響とネガティブな影響を批判的に評価する。(スキル)
- ▶より安全な性的行動やジェンダー平等の促進にメディアが積極的に貢献する方法を提案する。(知識)
- ▶セクシュアリティ、性的関係、ジェンダーへの認識にポジティブな影響を与えうるメディアの潜在的な力を認識する。(態度)
- ▶メディアにおけるセクシュアリティや性的関係のジェンダーステレオタイプや不正確な描写に異議を唱える方法を示す。(スキル)

5.5 援助と支援を見つける

キーアイデア：

・機密性が維持されプライバシーが保護されている、安価で、現実的な、敬意のある支援を受ける権利を、誰もが持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶性と生殖の健康に関するサービスや支援を受けられる場所を明らかにする。(知識)
- ▶若者は、プライバシーを守り機密性を維持し、しかも安価で現実的な、偏見のないサービスや支援を受けられるべきであることを認識する。(知識)
- ▶助けを求める適切な行動を示す。(スキル)
- ▶罪悪感や恥ずかしさを感じずに、助けや援助、支援を求めることを実践する。(スキル)

6 人間のからだと発達

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

6.2 生殖

6.3 思春期

6.4 ボディイメージ

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

キーアイデア：

・男性と女性のからだは、生殖や性に関する能力と機能も含め、時間の経過とともに変化します。

学習者ができるようになること：

- ▶ ライフサイクル全体を通して男女の性と生殖に関する能力をまとめる。(知識)
- ▶ 人はライフサイクルを通して性的な存在であることを認識する。(態度)
- ▶ ライフサイクルを通じた生殖能力の変化について、どのように感じているかを表現する。(スキル)

6.2 生殖

キーアイデア：

・すべての人に生殖能力があるわけではなく、妊娠したいと思っている人のために不妊に取り組む方法がありません。

学習者ができるようになること：

- ▶ 妊娠を希望しているが、不妊を経験している人の選択肢をあげる。(知識)
- ▶ 不妊に対処するための選択肢があることを認識する。(態度)
- ▶ 妊娠したいが不妊を経験している人への共感を示す。(スキル)

6.3 思春期

キーアイデア：

・ホルモンは、生涯にわたって人の感情的・身体的変化に大きな役割を果たします。

学習者ができるようになること：

- ▶ ホルモンが生涯にわたって感情やからだの変化に果たす役割を分析する。(知識)

6.4 ボディイメージ

キーアイデア：

・身体的外見の非現実的な基準に異議を唱えることができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 特定の文化的ステレオタイプ、ジェンダーステレオタイプや、それらがどのように人々のボディイメージや人間関係に影響を与えるかを分析する。(知識)

- ▶身体的外見の非現実的な基準が有害になりうると認識する。(態度)
- ▶自分のボディイメージと、それが自尊心や性的意思決定、その後の性的行動にどのように影響しうるかを考える。(スキル)
- ▶身体的外見の非現実的な基準に異議を唱える方法を示す。(スキル)

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

キーアイデア：

・セクシュアリティは複雑なものであり、生涯にわたって発達する生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的な側面を含みます。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティの複雑さや、それがどれほど多面的で、生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的な要素をどのように含むのか説明し、分析する。(知識)
- ▶セクシュアリティは人間の自然な一部であり、幸福を高めることを認識する。(態度)
- ▶自分のセクシュアリティとそれに影響を与える要因について考える。(スキル)

7.2 性的行動と性的反応

キーアイデア：

・性的行動をとることは楽しいと感じられるべきであり、それには自分の健康と幸福に対する責任が伴います。

学習者ができるようになること：

- ▶性のよろこびと責任について重要な要素をまとめる。(知識)
- ▶多くの人が、人生の中で、他人と性的な接触をしない時期があることを再認識する。(知識)
- ▶なぜ、よいコミュニケーションが、性的関係を高めうるのか根拠を示す。(知識)
- ▶ジェンダー規範やジェンダーステレオタイプが、人々の性のよろこびへの期待や経験にどのような影響を与えているかを考える。(知識)
- ▶自分のからだの性的な反応を理解することは、自分のからだを理解することに役立ち、どこかが適切に機能していない時に気づく助けにもなり、それによって援助を求めることができると認識する。(知識)
- ▶意図しない妊娠や HIV を含む性感染症の予防には、性的パートナーの両方に責任があることを認識する。(態度)
- ▶性的なニーズや限度を伝える。(スキル)

キーアイデア：

・性的意思決定には、意図しない妊娠や HIV を含む性感染症を予防するためのリスク低減方策を優先的に考える必要があります。

学習者ができるようになること：

- ▶意図しない妊娠や性感染症の予防に不可欠なリスク低減方策を分析する。出産時や、性的虐待、無防備なセックスによつてすでに HIV を含む性感染症に感染している場合は、他者への感染を減らすための方策を含む。(知識)
- ▶金品の取引を伴う関係では、より安全なセックスへの交渉力が制限される可能性があることを再認識する。(知識)
- ▶意図しない妊娠や HIV を含む性感染症のリスク、またはこれらへの感染を減らすための選択肢があることに気づく。(態度)
- ▶妊娠や HIV を含む性感染症の感染や性感染症の他者への感染を防ぐため、リスク低減方策を検討し、適用する。(スキル)

8 性と生殖に関する健康

- 8.1 妊娠と避妊
- 8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート
- 8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

8.1 妊娠と避妊

キーアイデア：

・避妊具の使用は、性的に活発な人々の妊娠を防ぎ、子どもを持つかどうか、持つのであればいつ持つかといった計画を立てるのに役立つ、個人や社会にとって重要なメリットがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 入手可能な現代的避妊方法（例：男性用・女性用コンドーム、低用量ピル、注射、インプラント、緊急避妊薬）の個人への恩恵と、ありうる副作用、リスクを評価する。（知識）
- ※注射、インプラントは日本では認可されていません。
- ▶ 性的行為をするとき、最も適切な方法、あるいはいくつかの避妊法の組み合わせを決定するのに役立つ要因（例：判明しているリスク、費用、利用しやすさ）を調べる。（知識）
- ▶ コンドームや緊急避妊薬を含め、避妊具を正しく使用することの重要性を認識する。（態度）
- ▶ さまざまな避妊方法について議論し、使用することへの自信を示す。（スキル）
- ▶ 必要になったときのために、望ましい現代的避妊法にアクセスするための計画を立てる。（スキル）

キーアイデア：

・意図しない妊娠は起こるもので、すべての若者は健康と幸福のために必要なサービスや保護にアクセスできるべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期の母親が教育を継続・修了する権利、差別なく生殖の健康サービスを受ける権利を守る法律や政策を調べる。（知識）
- ▶ 思春期の女子が在学中に妊娠した場合、その女子を排除したり、除籍したりすることはその女子への人権侵害であることを認める。（態度）
- ▶ 意図しない／するに関わらず妊娠した女性や女子が利用できる保健・支援サービスの範囲を確認する。（知識）
- ▶ 安全でない中絶は、女性や女子に深刻な健康リスクをもたらすことを理解する。（知識）
- ▶ 妊娠が早期であっても、意図しないものであっても、妊娠した女性や女子は質の高い安全で包括的な保健医療と支援を受けられるべきであることを認識する。（態度）
- ▶ 意図した／しないにかかわらず妊娠、またはすでに子どものいる友人や愛する人を、健康、教育、幸福に関して、どのようにサポートできるかを示す。（スキル）

キーアイデア：

・養子縁組は、親になる準備ができていない場合や親になることができない場合の選択肢の一つです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 養子縁組のリスクとメリットを評価できる。（知識）
- ▶ 養子縁組は、親になる準備ができていない人や親になることができない人にとって重要な選択肢の一つであることを認識する。（態度）

キーアイデア：

- ・ 健康な妊娠に貢献しうる、またはそれを脅かしうる習慣があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康的な妊娠に貢献したり、健康的な妊娠を脅かしたりする出生前の習慣を評価する。(知識)
- ▶ 健康的な妊娠を確実なものにすることは、母親だけの責任ではないことを認識する。(態度)
- ▶ 健康的な妊娠をサポートするための計画を立てる。(スキル)
- ▶ 出生前のサービスを利用する方法を示す。(スキル)

8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート

キーアイデア：

- ・ 適切なケア、尊重、支援があれば、HIVと共に生きる人たちは、生涯にわたって十分に豊かな人生を送ることができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIVと共に生きる人やエイズを発症している人々に対するスティグマと差別について、原因や影響を分析する。(知識)
- ▶ その国でHIVと共に生きる先駆的な活動家（男性、女性、そしてトランスジェンダーの人々など）を明らかにし、人々のHIVに対する考え方や、HIVと共に生きる人々へのサポートや保護にもたらしてきた変化を説明する。(知識)
- ▶ HIVと共に生きる人々の達成したことを認める。(態度)
- ▶ HIVと共に生きる人々を含め、すべての人が持つ、スティグマや差別から自由に生きる権利のために、社会に向けて呼びかける。(スキル)

8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーアイデア：

- ・ コミュニケーション、交渉、拒否のスキルは、若者が望まない性的プレッシャーに対抗し、より安全なセックス（例：コンドームや避妊方法を一貫して使用すること）を実践する意思を強化するのに役立ちます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 交渉スキルは、社会規範や権力の不均衡、意思決定する力における個人の信念や自信に影響されうることを再認識する。(知識)
- ▶ 望まない性的プレッシャーへの抵抗や、より安全なセックスの手段を採用するために、効果的なコミュニケーション、交渉、拒否のスキルを適用する。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 性的に活発な人々の中で、脆弱性を減らすためにどの方法を使うかの決定は、その人自身の自己効力感、判断している脆弱性、ジェンダー役割、文化、仲間の規範に影響されます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的に活発なときに脆弱性を減らすための個人の決定におけるすべての潜在的な影響について批評する。(知識)
- ▶ 社会における特定のグループの排除や差別が、彼らのHIVやその他の性感染症に対する脆弱性を高めることを認識する。(態度)
- ▶ 健康や幸福のための個人的な計画を立て、実践する。(スキル)
- ▶ コンドームへアクセスするさまざまな方法を実際にやってみる。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 性の健康に関わるサービスは、コンドーム、HIV検査、治療を提供していて、その中ではPrEP（曝露前予防

内服)・PEP (曝露後予防)・VMMC (医学的な男性包皮切除) を提供する場合があります。他の性感染症の検査や治療、避妊具やジェンダーに基づく暴力などに対応するサービスは、HIV に対する自身の脆弱性を見極め、必要な検査や治療にアクセスするのに役立ちます。

学習者ができるようになること:

- ▶ HIV 感染を予防すること、HIV に対する脆弱性を最小限に抑えること、両方のために利用できる性の健康に関わるサービスを評価する。(知識)
- ▶ PrEP や PEP を含む、安全で機密性の高い HIV 検査やその他のサービスをどこで受けることができるかを明らかにする。(知識)